

No. 1255 (二〇一八年一月一日号) から

No. 1278 (二〇一八年十二月十五日) まで

No. 1255 (二〇一八年一月一日号)

◇巻頭言◇ ホメロス『イリアス』とマルクス『資本論』

滝野 忠

二〇一八年への抱負

二〇二〇年前後の情勢(上)

伊勢 太郎

ゲバラ没50年、『資本論』刊行150年に訴える

稲村 守

―マルクス経済学を学びなおし、科学的社会主義を守り発展させよう―

マルクスの志、その追求の軌跡を追う(五)

スメタナの連作交響詩『わが祖国』

中澤 秀行

―「原始キリスト教の歴史について」②―

読者からのおたより

No. 1256 (二〇一八年一月十五日号)

◇巻頭言◇ 独占資本への批判の眼を養おう

森 勉

違法と不正を繰り返しながら 巨額をため込む独占資本

労働力と労働の違い

相馬 洋

―「社会主義協会」代表・津和崇さんへの批判―

津和さんはどこを間違えているか

宗近

―マルクスを正確に読んでベーシックインカムを考えよう―

マルクスの志、その追求の軌跡を追う(六)

「哲学の根本問題」と「神」

中澤 秀行

読者からのおたより

No. 1257 (二〇一八年二月一日号)

◇巻頭言◇ 下からの組織づくり

伊勢 太郎

―二〇二〇年前後の情勢について(下)―

『中期政策補強素案』について

原 野人

「連合政府」とは何か

滝野 忠

―再び「BI」について―

◇新社会党への要望◇

大嵐の予感 社会保障改悪

宮本 嘉峰

―BI議論より 社保解体反対の運動を!―

マルクスの志、その追求の軌跡を追う(七)

マルクスの真摯に学問した足跡

中澤 秀行

―否定せざるを得なかった「神と宗教」―

読者からのおたより

No. 1258 (二〇一八年二月一五日号)

◇巻頭言◇ 一八春闘 経団連「3%」を考える

春闘63年 数値目標は二回目の「大事件」

安曇野の豊科近代美術館

―マルクスの志、その追求の軌跡を追う(八)―

「BI 滝野見解」(No. 1254) に、Tさんから「反論」

Tさんにお答えします

国連勧告に拘束力はない

―実行せまる大衆的闘いこそ不可欠―

読者からのおたより

伊勢 太郎

中澤 秀行

滝野 忠

山下 俊幸

No. 1259 (二〇一八年三月一日号)

◇巻頭言◇ 原発大事故から7年がたつて

独占資本は人々の命と健康をどこまで奪う

国鉄闘争の経験を活かし、

階級的労働運動の再構築に向けて(二)

すべては疑い得るゝ宗教的神話や迷信からの脱却

―マルクスの志、その追求の軌跡を追う(九)―

怒り広がる介護保険「生活援助」利用制限

―各自自治体 3月議会へ「撤回」求め行動を！(二)―

読者からのおたより

原 野人

浜田 嘉彦

中澤 秀行

宮本 嘉峰

No. 1260 (二〇一八年三月一五日号)

◇巻頭言◇ ゴミ箱の経済学

人に志あり マルクスの志、その追求の軌跡を追う(十)

マルクス主義は「運動の未来を代表する」

今年は『共産党宣言』刊行170年

自活体制そして闘いからの教訓

―国鉄闘争の経験を活かし、階級的労働運動の再構築に向けて(二)―

JR労働戦線に「異変」

◇資料◇ 勤労速報(平成30年2月22日 人事部)

◇投稿◇ BIに積極的賛成者はいない

あせらずに正道を貫き広げよう

―独占資本の反動攻勢に打ち勝つために―

読者からのおたより

滝野 忠

中澤 秀行

浜田 嘉彦

伊勢 太郎

川井 吉郎

原 野人

No. 1261 (二〇一八年四月一日号)

◇巻頭言◇ 3・11 メッセージ

労働者はかならず勝つ

國分 富夫
稲村 守

― 京都総評43年2か月を省みて―

『東労組の乱』未遂事件と会社の対応を考える

森 勉

― J R 東会社の戦略と東労組の弱点―

闘える組織づくりと活動家づくり

浜田 嘉彦

― 国鉄闘争の経験を活かし、階級的労働運動の再構築へ(三)―

読者からのおたより

No. 1262 (二〇一八年四月一五号)

◇巻頭言◇ 企業の儲けは不払い労働から

18春闘を総括する

滝野 忠

議会へ社会主義者を送りこむ

浜田 嘉彦

― 国鉄闘争の経験を活かし、階級的労働運動の再構築へ(四)―

『エネルギー基本計画』と『原発ゼロ基本法』について

原 野人

― 日本の自然エネルギー利用はなぜ遅れているか―

世界は「新しい社会」を求めている

伊勢 太郎

― 世界情勢について(一)―

「軽度者」(生活(家事)援助)切り捨て

宮本 嘉峰

― 介護保険をめぐる諸問題(一)―

読者からのおたより

No. 1263 (二〇一八年五月一日号)

◇巻頭言◇ 現代学生の政治・経済学

滝野 忠

憲法は市民の力で守り切ろう

菱山 南帆子

― 国会前の闘いから滋賀へのアピール(一)―

沖縄県民の歴史意識

本村 充

― 沖縄米軍基地・辺野古新基地建設反対闘争―

マルクスに学び資本主義を正確に認識しよう

原 野人

― 「企業に解消された資本、多国籍化で消えた独占資本」からの脱却を―

介護報酬改定 ケアプランは誰のもの？

杉森 弘之

― 2018年3月市議会一般質問から―

「孤立死」まねく「生活援助」回数制限

宮本 嘉峰

読者からのおたより

No. 1264 (二〇一八年五月一五日号)

◇巻頭言◇ 朝鮮半島の非核化

トランプ氏には期待できず

心の底に届く運動

菱山 南帆子

―国会前の闘いから滋賀へのアピール(二)―

「日中不再戦の誓いの旅」

相沢 瑞男

―日中労働者交流協会第4次(一)―

「生活援助」利用制限しないで

杉森 弘之

―2018年3月市議会一般質問から(二)―

読者からのおたより

No. 1265 (二〇一八年六月一日号)

◇巻頭言◇ 厚労省「生活援助」切り捨て さらに

宮本 嘉峰

6月議会に「請願書」提出へ

空想から脱却しよう!

原野人

三〇〇〇万署名の活動

菱山 南帆子

―国会前の闘いから滋賀へのアピール(三)―

日本軍 南京大虐殺の追悼儀式

相沢 瑞男

―日中労働者交流協会第4次の報告(二)―

大飯原発4号機うごかすな!

稲村 守

―5・9 おおい町現地行動に市民の怒り―

読者からのおたより

No. 1266 (二〇一八年六月一五日号)

◇巻頭言◇ 労働者思想の強化 私たちの方針

国労上野反合研

搾取・剰余価値・国家

菱山 南帆子

永田町を百万以上で埋めつくす

菱山 南帆子

―国会前の闘いから滋賀へのアピール(四)―

三池闘争、国鉄闘争そしてマルクス

山下 俊幸

―四国の仲間たちの国鉄闘争総括運動に学ぶ―

「新松本百景」で紹介された向坂逸郎著『マルクス伝』

中澤 秀行

―園廉三と扉山人を想う―

読者からのおたより

No. 1267 (二〇一八年七月一日号)

〈特集〉小林晃氏を悼む

◇巻頭言◇ 小林晃さんを送る

現代も資本主義である、ことを忘れまい

原野人
小林晃

- (1) 人工知能の資本主義的利用の帰結
- (2) 「保護貿易」か「自由貿易」か
- (3) 「資本主義の未来」
- (4) 現代資本主義論の混迷
- (5) AI（人工知能）とBI（ベーシックインカム）

小林晃先生の本誌主な掲載論文
編集部だより

No. 1268 (二〇一八年七月一五日号)

◇巻頭言◇ 「同一労働同一賃金」に最高裁2つの判決

新潟知事選総括のワンポイント
外交は「秘密」交渉
金平 博
小林 義昭

― 今も昔も変わらない ―

高級官僚の政治生態学

伊勢 太郎
佐野 周二

オール北海道の闘いの始まり (二)

― JR根室本線「新得―富良野」存続へ、230人結集し十勝集会 ―

滝野 忠

朝鮮半島の平和と非核化に「光」

― 二つの首脳会談から (一) ―

読者からのおたより

No. 1269 (二〇一八年八月一日号)

◇巻頭言◇ 混迷するイタリアと日本
宗近

BIは反動化する独占資本と右翼の救済策ではないか

― 目先の利潤追求に猪突猛進の独占資本 ―
原野人

― 原発推進、自然エネルギー抑制の『基本計画』 ―

運輸センター駅、それとも流通センター駅
滝野 忠

― 運輸労働者の労働とは ―

佐野 周二

― 鉄道には歴史、生活がこもっている ―

― JR根室本線「新得―富良野」存続へ (二) ―

◇資料◇ 国の責任が問われる

― JR根室本線の早期災害復旧と路線維持を求める集会決議 ―
稲村 守

― 大飯原発控訴審：安倍政権付度判決！ 18・7・4 金沢 ―

― 「三権分立」放棄の判決 ―
本村 充

― 「社会主義」は崩壊したのか…… ―

小林晃先生を悼む

読者からのおたより

No. 1270 (二〇一八年八月一五日号)

◇巻頭言◇ 同一労働同一賃金の闘い
近隣自治体の総意で

滝野 忠

東海第二原発の再稼働を止める

相沢 一正

地球温暖化とアメリカの労働組合

― Reiko のカリフォルニアレポート―

みえぬトランプの戦略

伊勢 太郎

ゼロ金利と資本主義

【資料】最低賃金の目安小委員会報告について (全労連、17年7月26日)

地域間格差拡大、韓国に遅れ

読者からのおたより

No. 1271 (二〇一八年九月一日号)

◇巻頭言◇ 小林 晃 と 伊藤 誠

原 野人

― 向坂逸郎と宇野弘藏を継いで―

マルクス思想の根本

滝野 忠

階級と唯物史観

― 『共産党宣言』を読み直す (二) ―

未来に向け新たな歩み始める

小西 純一郎

― 武庫川ユニオンは、結成30周年を祝うついで新たな出発を誓う―

読者からのおたより

No. 1272 (二〇一八年九月一五日号)

◇巻頭言◇ 福島第一の高濃度汚染水をどうするか

原 野人

― 海や大気や地下への無責任な放出はやめよ―

放射能含む蒸気漏れで高浜原発4号機再稼働延期!

稲村 守

― 高浜原発そのまま廃炉! 関電包囲全国集会炎天下400人―

今の職場の力で、闘いを作るしかない

国労上野反合研

― 国労全国大会 代議員の発言と書記長集約から考えること―

司法の保守化と対抗する労働組合・市民

― Reiko のカリフォルニアレポート―

唯物史観

滝野 忠

― 『宣言』を読み直す (二) ―

読者からのおたより

編集部だより

No. 1273 (二〇一八年一〇月一日号)

◇巻頭言◇ 討議資料『中期政策の補強』について
労働者の不安定雇用と労働法

原野人
本村 充

―労働契約法18条・19条―

少子高齢化の政治経済学

伊勢 太郎

―少子化と独占資本 思想攻撃(二)―
36協定職場代表選挙

―野佐根代議員(上野支部委員長)の経過討論発言―

JR根室本線 国の責任で災害復旧を!

佐野 周二

―国土交通大臣へ約5000人署名提出―
階級 日本の階級構成

滝野 忠

―『共産党宣言』を読み直す(二)―

読者からのおたより

No. 1274 (二〇一八年一〇月一五日号)

◇巻頭言◇ 歴史的勝利 沖縄と本土
教訓を活かそう!

滝野 忠
原野人

(1)北海道地震の教訓と電力独占資本

(2)内外で消え去るベーシックインカム

階級と階層 マルクスとアメリカ社会学

―『宣言』を読み直す(四)―

少子化と労働者階級(二)

伊勢 太郎

―プラスの面はないのか―

読者からのおたより

No. 1275 (二〇一八年一月一日号)

◇巻頭言◇ 朝鮮でもネップ政策の導入(6度目の訪朝)
「普遍主義」はだれを喜ばせるか

小林 義昭
原野人

グローバリズム

伊勢 太郎

矛盾拡大する連合労働運動

滝野 忠

アホ、バカ、マヌケのトランプさん

―首切られるのはいつ?―

労働者と資本家の対立を解明

―『宣言』を読み直す(五)―

読者からのおたより

No. 1276 (二〇一八年一月十五日号)

◇巻頭言◇『中期政策の補強案』は根本的改悪案

― 討議資料『中期政策の補強案』は、全面的に撤回されるべき―

コミュニティ・ユニオン第30回全国交流集会

労働者の尊厳を守る皆

― 2019年姫路集会を確認して終わる―

賃金要求の放棄

― 連合 要求基準提起せず―

世界大競争と独占資本

― 「Society 5.0」と経団連―

《投稿》新社会党はどこへ行く

― 歌を忘れたカナリヤか―

BIはブルジョア社会主義

― 『宣言』を読み直す(六)―

読者からのおたより

No. 1277 (二〇一八年二月一日号)

◇巻頭言◇ 貧困・格差、不安定雇用の根本問題

新しい『討議資料・中期政策の補強』への感想

― 『討議資料』の撤回を求めます

社会主義への多様な道を否定する人々

― ベーシックインカムにすべてを収れん

協会顧問を辞す願い

春闘 連合と経団連

読者からのおたより

No. 1278 (二〇一八年二月十五日号)

◇巻頭言◇ ゴーンの犯罪が教えること

日本共産党の現在

トランプは「敗けた」

― アメリカ中間選挙 民主党と共和党

久しぶりに職場の攻防が報告

― 国労上野支部大会から―

基本政策は全員の賛同が基礎

― 「中期政策の補強」案の全面撤回を求める―

JR根室本線(新得―富良野間)の路線維持!

― 北海道の鉄道存続と再生を考える 十勝の集いin帯広―

読者からのおたより

原 野人

金平 博

滝野 忠

伊勢 太郎

川井 吉郎

伊勢 太郎

滝野 忠

稲村 守

原 野人

編集部

原 野人

伊勢 太郎

滝野 忠

国労上野支部反合研

山下 俊幸

佐野 周二